





大連市西通り九十三番地  
「シーベビー」の御用は  
シネサービス・ステーションへ  
電話 六九五七







賢問愚答  
愚問賢答  
的漫談  
(三)

井田潑三筆記

「尊嚴に威嚇の聲が空を穿ぬに其處まで押しかけて来たといふ連中は、前衛はダゼンと聲明しゐる」といふとか、陣中も五匹は出た。響になつて居ますかといふ、旦那様「尊風は土地へベツタリと来て居ります。君こそ上出来なでござんすよ」と日に認めてなでとうしやうと上座とのプツアリ笑聲の本太衆を並べたといふ人、一箇かつかちや、自慢賢い、奴等々のこぢや、

「その止まれ狂言の例へ方が氣に入らぬのか、木戸が高きがあるとか、役者も膝づつ不足があるとかと興行者の舌を動かして外に」  
「勝手に驚かせたる」

「その上出来な舞だつた魔障遣中も罷つてゐると懸け附くものでもないものに變つて居傳つて、とどのつまりが今日では付き始めでは降牌するががチの付き終ひで、自慢賢い、奴等々のこぢや、

「そんなりになるは七島月人に變るとになが……」

「ですけれど七島中には日日月日オキヤと飛び出してべりからし今夜に魔障行持念珠を摩訶サマと云つた御座居ますのでひかりつくるとして話です。」

「まあそれよりして、そせや萬の魔障が居居に來下でござんす」

す。私に今ではこの歌の色の持つ  
ほど、その色を味はした事はない  
せん。譬えて言へば、幾千尺の  
深い淵の底に引かれ水の濁り  
の程など、これ迄もて知れぬ裏  
まで、この色は色々にけつて  
は歸りて吾れの常態のそのとの  
なで、歌は何れはほんのりとし  
た明るさ。若しもこの世の中は  
「明るさ」と言ふべきあれば、全  
くその二明るさ、彼の歌の前に、  
せられた事になつてゐますので、  
〇年を干してゐます。一九  
〇二に、男と女といふものは、  
少なり、少なり、なるので、この  
この歌の體裁と言ふものは、歌は  
一九八八年の終、アロバ、アロバ、  
込んだり、アロバ、アロバ、  
に歸て、これを人へてして見ると  
は、多少の男と女といふ、  
私は前申した事、千夜  
の爲の爲に、千夜に、  
せられた事になつてゐますので、

[illegible]

大浦中の見物者一類子に呼び寄せて見る位は位の尊けつて附下で居るが、さういふコトヲを聞けて見るのヨリやうちやウチヲとびつくりする程の人達ぞぢや」

「大入満船止めの要渡なんですって」

「取調いわけしやい、劇場の中はカゴ島が海と相だ、此處から遊ハシの船には見付からない程にワツラの隅にかたまふ。コッチの隅にかたまふ、對してし二ツタの隅にカゴ島の山と來らぬ」

「アツたてんで」

千秋楽の日で香しき節をきゝも開かれぬ有様や」

「そりすよ、要するこの興行は大成功云ふ諺に行かなかつたのですか」

「大成功どころか、中成功も望まないのぢや」

「然し、あはれほどまで、臨陣新聞社あたりへ、演劇をしに宣戰も相當以上に行ひ詰つて居るから明日までに客があつても、臨時降りに急参なり、來て呉れない客があつても相當の成績が果せるべきであるのに」

「そこを問答ぢや」

「それを七千の中の数分ぢや」

「二點半は出來ねますがサマツと點もありませんが」

「よめた、そんな事へだからその事を」「なぜない役者も、芝居がこなないんでな」などと嘆つてあり、いんどうなど」

「度々なるだ」

「デヤナと雖にも意見を立てればばいんで」

「芝居の目障りな芝居の好きさ人間性好きな人ロレンス等々等々の一切都合して、先づこ」と見るをきぢやう。これをとも餘程に目に見えつての體裁を

「芝居」ももつて来い、んせうと  
お祭なまをさかされる、笑謡や踊で  
は前子(まご)に行かぬとかお祭り  
を受ける。かほど千千萬の御注文  
に應じ、ビラオリと来る芝居(芝居)に  
無と云ふて聞かぬと暫(しばらく)来  
なばそれを知て閑然と舞に來る。果  
ないばりぢぢぢやない、アナン(芝居)  
を見にいらぬに座する骨格(こころ)と  
遊覧(あそび)に就ける芝居は沖水(うき)と  
限りなく。大連は興行のやうに思  
い所は世界中の何をも觀してゐる  
にない。何をもいふと云つても過言  
ぢやない。

る人散々せず幸ひ芝居に金の利益  
で使ひしつてあるのか、從つて  
仕入れや安値の方、定するは  
然らずやない。安から買つて賣  
うは昔からの通り相場ぢやない  
う、否(いや)なよい芝居がや  
う、否(いや)なよい芝居がや  
う、否(いや)なよい芝居がや

「ダマナ通判より大連へ附つたお祭  
は安値でござん、大連は芝居と大連は芝居  
長巻(ながまき)無帳(むちやう)安値(やすし)と夫々に有(あ)り  
る町がけつて居るやありませんか  
ぢやない、ぢぢぢの土地で相當の利益  
は果が(は)あつてすぢやない  
「ヒヤア悪いッ」

に相違ありません……」

「マ……」と云つて呉れ、貴公は、歐羅巴洲人の總數を御存じなのか」

「その位のことを知つて居ます」

「それぢやちやあませんか」

「さうぢやちや、北高はどの人間があつて居る南高は一總數あつて居る有様は大海へメカが泳がれたにさても居る、一口に北高と云ふは相當の數のうちに限るが東京市の一つの區人口に足らぬ程の人数が日本全体の總數である南高に對して居るのまで添く吐き出してツカラカになるのがちや。然レズツカチツカになつても歐羅巴洲人の船と云ふ上ツの船ぢや、中には幾らでも漂ひないで船もどきへの海一重が……などと思へば、久しうたつても長き、こんな海の中が生命か……」に逃げ歸つて、滿洲の處は實にひいて處するまで尾端をつけた金網をひいて居るつて居た、その次來や……と思つて居た通中の出足は鈍せられて仕舞ふ、それを無理に引續け仕込むが、高價

へて來たかを考へるが、今更の社會を交する支那の金も味は、新羅歐羅……パダ……味はであるのか。……それらは、代官會に於ける自己御として出陣の會に於けるが、

**シネ・ボエム**

北川彦彦は許人であるを。彼はシネ・ボエムなるものを。それはシナリオと神の總數で。それはシナリオと神の總數で。北川彦彦のシネ・ボエム

「どうして、大連の人口はどれ位あると思ふ」

「まるで中学校の入學試験で應ずる（まづ）と廿萬もありませうかなア」

「そんなに蒙山の日本人が居つたのか。そりや知らなかつた」

「政府を云て居ますよ、日交合（にこくごう）の條（じょう）に載（の）つて居ります」

「君に來れるんすか」

「僕の五千と見てからうろ」

「ホントですか」

「何物（なんぶつ）もいしかもこの三千の間に  
見ない物をそれへ、新聞文があるやう  
うと云ふたもの、歐州役もあるやう  
て來れば時代錯誤だ、そんなものを  
が見られぬかとモギに下さき下さる  
れる新報（しんぱう）にて來れば、アアア  
と云ふ譯（わけ）だ」

[illegible][illegible]

ラヂオ露語講座  
局一月二十七日午後七時半  
連語學校グロースマン  
ДЦАТЬ СЕЛЬМОЙ УРОК.  
М КОМНАТЫ И КВАРТИРЫ

「あ、ねむいだからおやすみなさい。」  
「あらねむくやありませんか。これは羽置があるねむくやありませんか。」  
「お天気の日に、暖かい部屋にぞーッとして居られないのが大連人種の特長ぢやと、暮らしてゐる人なんか見に行へものか。」  
「ア、レ、ム。」  
「三日目もお入りぢや。」  
「お参りとお天氣がよかつたんですか。」  
「イヤ、降降おちや。」  
「まづ、降降合はなぬ。」  
「つておへは見ろ。大通へ往むのは人間で降降と、地下下の設備のある家が建ち立つと思ふ。居はその様子をすらすらと、どん／＼支那になつて仕舞つて、降降降つたあと後、堅居と堅居をきめて出て来れわい。」

第...の階で...（日本人）...に突入...ト多量...消滅し...をうけ...

第二十七課  
 部屋及家賃賃貸  
 廣 告

部屋ノ賃貸シスル。  
 家ノ賃貸シスル。  
 三食付部屋ノ賃貸シスル。  
 スベテ便宜ナリ部屋ノ賃貸シスル。  
 一何ウゾ言フテ下サイ、貴方ノ處ニ空イタ部屋ガ有リマスカ？  
 一ハイ、御座イマス。  
 一貴方ハソレバ賃貸シナサイマスカ？  
 一ハイ、賃貸シ致シマス。  
 一私ハナイ明ルイ部屋ヲ二ツ(借テ)ネバナリマセン。  
 一何ウゾコナハ。ソレ此ノ二ツノ部屋ヲ私ハ賃スコトガ出來マス。  
 一貴方ノ家具ト共ニオ賃シニナリマスカ？  
 一若シモ貴方ガ御入用デシタラ何ウゾ。  
 一コノ二間ノ家具付部屋ハイカ程デスカ？  
 一此ノ二間ノ部屋ハ一箇月百二十圓デス。  
 (次ニ續ク)

[illegible]

思ひ出る馬  
(三)

黑頭巾記

[illegible]

一の谷　馬も四足　馬も四足  
唱歌  
早知左馬介　湖水幾り  
早馬  
人喰馬  
馬角　鷹武  
馬を獲て　と鯛ふの故物を要す摩  
つらん　太平記重下り  
馬に鞍かけ、鞍山　麁曲  
馬歌し　關井澤輝馬族の一  
馬市  
うまさんさ　隨兒島の菓子  
馬穴  
芝居の馬  
馬歌　馬芝居  
水馬  
人間騎人　馬觸船馬　見兒讀  
人騎脚車　白馬騎人行　摩羅

林の木　佐野の馬　豊稻洞  
馬上天下、安んぎ馬上に天  
を拾ひけんや  
七輪落  
落武者の一體えりは七輪落  
馬鹿馬  
馬鳴  
浅草の馬屋  
黒龍圖をおとした乗り馬  
から梅をみながら馬に上  
  
川　勇  
相馬調  
有馬調  
相馬大伴  
馬師傳　電古  
  
川　御

[illegible]

映畫雜觀  
(上)  
大內隆

大内隆雄

これは、**郷土劇**がこれと言つてゐる「原作の題材、設定からなれば、すべて通つた」ものであつたといふが、我々の前にある**浮城物語**は、**浮城物語**に於ける**資本主義的**な、**バタロ**に止つてゐるといふ。そしてその**バタロ**が今年の**中野の郷土劇**になるのだらうといふ。それは、

FRIGIDAIRE

The QUIET Automatic Refrigerator

電氣冷藏器  
フリヂデア

家庭用  
營業用  
其他如何なる冷藏裝置でも  
設計施設の貴需に應じます

米國フリヂデア電氣冷藏器會社  
滿洲デストリビューター

合名會社  
原田組冷藏器部  
電話(國)八二四番(代)八一二番  
南滿洲電氣株式會社  
島津製作所大連出張所

同發賣所

壓差動止裝置



10

御常用トシテ定評アル  
**鳩**  
**筆墨**

六六銻 廿五錢

二号天祐十五錢

鳩居真書十錢 (模印)  
 以上ノ圖ハ現型二分一圓  
 内地造料十二錢

宮内省御用達  
 香粧品具  
 職末文具

軍手現金卸賣  
 毛糸廉賣  
 羅紗小倉厚司

御常用トシテ定評アル  
**鳩**  
**筆墨**

平安 (鳩印) 五十錢

鳩居真書十錢 (模印)  
 以上ノ圖ハ現型二分一圓  
 内地造料十二錢

宮内省御用達  
 香粧品具  
 職末文具

軍手現金卸賣  
 毛糸廉賣  
 羅紗小倉厚司

山本洋行  
 信濃町市場  
 電話四四四七

[illegible]



# ハフェイス振動不感時計

**特 登**

日機指振  
章印械式動  
振厚堅正不  
例率確感

世界第一良品廉價

振つても止らぬ時計

東關洲滿

大興發無敵安  
信華口順家軍

**店約特洲**

大連 奉天 哈爾濱 遼陽

振動不感時計

金銀石國平  
田江原 井岡  
時洋洋 時計  
計店行行店店

大連 奉天 哈爾濱 遼陽

振動不感時計

振動不感時計

金銀石國平  
田江原 井岡  
時洋洋 時計  
計店行行店店



満洲日報

改

2号日 50 sen

造

科学の犯罪の鑑定  
現代日本  
文藝論  
科学の犯罪の鑑定  
科学の犯罪の鑑定  
科学の犯罪の鑑定

第二貧乏  
新川柳に現れた社會の顔  
自動車の話  
政治界の分野  
無産の選挙協定  
倫敦海軍と我が政府の  
音楽藝術の階級性  
大衆文學は何を成るか  
ふらふらでござる

文藝雑誌  
慶子と祖父  
小鳥  
砂糖の話  
ベツの倫理  
赤い廣場を横切る  
田口運藏  
廣津和郎  
長谷川伸  
網野菊  
横光利一  
十一谷三郎  
中野重治

大連商業銀行  
大連市西通  
電話 1000  
大連市西通  
電話 1000  
大連市西通  
電話 1000

増刷出来! キング 見よ、左評判小説

宇宙に浮く首	燃ゆる花	血ろくろ傳奇	春遠からず	怪盗夜叉王	面白いこと無類	ガラマ	サどん
大下宇陀児先生の探偵小説	菊池芳先生の大衆小説	土橋清二先生の探偵小説	加藤武雄先生の長篇小説	前田山先生の大衆小説	佐々木邦先生の探偵小説	佐々木邦先生の探偵小説	佐々木邦先生の探偵小説

少年技術師 子供科の學科

飛行機と氣球	鳥の卵の色々	人間の物語	建築材料の話	数学の歴史	血液の話	科学玩具の作り方	電氣のしくみ	電氣機械の作り方	電氣機械の作り方
中野重治	中野重治	中野重治	中野重治	中野重治	中野重治	中野重治	中野重治	中野重治	中野重治

GREENE TWEED & CO., Ltd. バルメツトバツキン

大連市西通 電話 1000

大連市西通 電話 1000

大連市西通 電話 1000



























賢問愚答的漫談(三)

井田 三筆記

「愚問愚答」の漫談は、其の趣向が面白く、また、その内容が、世に於ける人情世故を、妙に諷刺して、人々を笑はせるものがある。...

新版「千夜一夜」

豪華半記

水鏡の巻が、あらためて、不世出の傑作として、世に知られることになった。...

大いに感心する。...

「愚問愚答」の漫談は、其の趣向が面白く、また、その内容が、世に於ける人情世故を、妙に諷刺して、人々を笑はせるものがある。...

水鏡の巻が、あらためて、不世出の傑作として、世に知られることになった。...

大いに感心する。...

ラジオ露語講座

大連放送局一月二十七日午後七時半  
講師大連語学学校グロスマン  
ДВАДЦАТЬ СЕЛЬМОЙ УРОК  
НАМ КОМНАТЫ И КВАРИРЫ

Сдается комната.  
Сдается квартира.  
Сдается комната с полным пансионом.

映画雑誌

大内隆雄  
「上」

思ひ出る馬(三)

黒頭巾記

馬の思ひ出る馬(三)...

映画雑誌

大内隆雄  
「上」

FRIGIDAIRE The QUIET Automatic Refrigerator 電気冷蔵庫 フリヂデア

世界第一、良品廉價 振つて止らぬ時計

痔の新治療

ハリス振動不感時計



刷印

1955年10月

印刷部

1955年10月

眞鍮板調  
ネームプレート製  
大田市豊後町十七  
沖本フリキ店  
電話六二六

改

滿洲日報

大連市紀伊町建築協會三階  
小野井 共同建築事務所  
(電話) 六五五號至六六五號  
工學士 小野井 孝治  
工學士 橫井 謙介

如何にダンガ印の獨を叫ぶスーボ

小島 精一  
モロコシの果物  
モロコシの果物  
モロコシの果物

モロコシの果物  
モロコシの果物  
モロコシの果物

モロコシの果物  
モロコシの果物  
モロコシの果物

總選舉  
恒馬場  
落馬の價銀

木テル  
北子村  
兼

無戀  
人婦產愛  
(子いた林平)

現代日本  
文章論  
折口信夫・川端康成  
小林多喜二・佐藤春夫

科學的犯罪の鑑定  
淺田

無戀  
人婦產愛  
(子いた林平)

カフエ・酒  
場・銀座  
「喜多壯一郎」

2号目  
50 sen

<p><b>義の第二期</b></p> <p>猪俣津南雄</p>	<p>文藝は何處へ行く でござすこ</p> <p>木村 毅</p>	<p>兼常清佐</p>	<p>安富正造</p>	<p>山川 均</p>	<p>高橋正雄</p>	<p>井上劍花坊</p>	<p>河上 肇</p>	<p>二貧乏物語</p>	<p>柳に現た社會の顔</p>
----------------------------------	---------------------------------------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------------	-------------	--------------	-----------------

小説  
 砂糖の話  
 中野重治  
 小説  
 キヤベツの倫理  
 十一谷三義郎  
 小説  
 鳥  
 横光利一  
 小説  
 慶子と祖父  
 網野菊  
 戯曲  
 ラン・プ  
 長谷川伸  
 文藝  
 感  
 廣津和郎

造

**日本共産村落的**

無黨派の直説  
（巻頭言）  
改進黨の主張  
東洋經濟市  
芝罘支店  
愛媛県下  
送料二〇圓

二月號 五價錢

武野小

大増刷出来！  
**キング**  
二月號  
見よ！左評判小説

 <p>(加藤武雄先生)</p> <p>前田博士先生の傳奇小説</p>	 <p>(土師清二先生)</p> <p>加藤武雄先生の長篇小説</p>	 <p>(阿部乾兒先生)</p> <p>大下宇陀兒先生の探偵小説</p>	 <p>(阿部乾兒先生)</p> <p>菊池園考先生の家庭小説</p>	 <p>(阿部乾兒先生)</p> <p>大下宇陀兒先生の探偵小説</p>	 <p>(阿部乾兒先生)</p> <p>菊池園考先生の家庭小説</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

面白  
い  
学  
科  
の  
子  
供  
爲  
に  
お  
る

[illegible]

# 少年技師

[illegible][illegible]

GREENE TWEED & CO.,  
バルメツトバツキン  
高壓ステアーユ用高壓エヤー用  
For Rods & For Valves

大  
通  
鳥  
羽  
洋  
行

新  
入  
荷  
品

上記多數荷入御用命乞ふ

常  
に  
新  
柄  
と  
新  
型  
ユ  
ル  
ヤ  
カ  
ニ  
シ  
ツ  
ク  
リ  
ト  
ー

大 連  
丁 子 屋 洋 服 店

電 話 六 六 二 七  
大 連 三 四 九 三

最新刊  
 大失者日本國民 小堀史郎  
 買價一圓二錢送料八錢  
 讀者モルガン  
 買價一圓五錢送料八錢  
 中書下開や此は便利  
 益多し 買價九錢送料八錢  
 此書土の上・水のし  
 左門家から 其他  
 買價一圓二錢送料十錢  
 成吉田松陰 アデー  
 買價一圓五錢送料六錢  
 概観 世界地誌  
 買價一圓七錢送料六錢  
 高等數學綱要  
 買價一圓二錢送料八錢  
 讀方 讀の寶鑑  
 買價一圓五錢送料六錢  
 白孔雀  
 買價一圓十錢送料八錢  
 日本 國語文藝大綱  
 買價九錢送料六錢  
 春のこゝろ  
 買價九錢送料六錢  
 東京男女 講義  
 買價六錢送料四錢  
 美しい花壇の作り方  
 買價一圓六錢送料八錢  
 最新顔洗濯法  
 買價一圓二錢送料八錢  
 童話其の解説  
 買價一圓二錢送料八錢  
 大連市大山路  
 満書堂書籍部  
 電話二七六八

最新刊  
 野村胡堂經濟界の研究  
 買價一圓九錢送料六錢  
 三老船長の物語  
 買價一圓九錢送料六錢  
 かまいたち  
 買價一圓四錢送料十錢  
 満蒙を踏破して  
 買價一圓四錢送料十錢  
 田中義一偉人百話  
 買價一圓四錢送料十錢  
 時評者減稅の解説  
 買價一圓五錢送料六錢  
 大連圖繪  
 買價一圓七錢送料四錢  
 津澤巨人を語る  
 買價一圓二錢送料六錢  
 伊藤支那の建築  
 買價一圓二錢送料六錢  
 殺生關白記  
 買價一圓二錢送料十錢  
 飯島龍出支那革命の本  
 買價一圓二錢送料十錢  
 末廣麻雀の戰術  
 買價一圓二錢送料十錢  
 北川三郎の活路  
 買價一圓二錢送料十錢  
 支那佛教研究の活路  
 買價一圓六錢送料十錢  
 支那佛教研究の活路  
 買價一圓六錢送料十錢  
 大連市大連街  
 大阪屋號書店  
 電話二七六八

大連市大連街二番地  
 日下齒科醫院  
 電話二七六八











